



安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

安全性データシート

1. 物質および供給者の情報

製品名: ヘモグロビン A1c 液体安定化制御物質レベル 1 および 2

その他の名前: HbA1c 液体制御物質 [B12396 (HB410B); B12397 (HB410MBB)]

化学物質の推奨用途

実験室の装置/試薬システム評価の品質制御物質としてインヴィトロ診断で使用する液体安定ヒト血液溶解マトリックス。

供給者: Canterbury Scientific Limited

NZBN: 9429039881519

住所: 71 Whiteleigh Avenue, Addington,
Christchurch, New Zealand, 8011

電話番号: +64 3 343 3345

メール: info@canterburyscientific.com

緊急用電話番号: +64 21 640801

EU 代理人: Emergo Europe

住所: Prinsessegracht 20,
2514 AP The Hague, The Netherlands

電話番号: +31 (0) 70 345 8570

FAX 番号: +31 70 346 7288

メール: EmergoEurope@ul.com

米国販売者: Beckman Coulter Inc

住所: 250 S Kraemer Blvd
Brea,
CA 92821, USA

電話番号: +1-714-961-3659

FAX 番号: +1-714-993-8737

2. 危険有害性の要約

注意: この製品には、少量のシアン化カリウム (KCN) (<0.5%) が含まれる。KCN の危険性により、分類における希釈の容認は許可されていない。したがって、危険分類はこれを反映している。

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

注意喚起語: 危険



HSNO (1)	GHS7 (2)	危険有害性情報 (H コード)
6.1A (すべて、経口、経皮、吸入)	急性毒性 (経口) 区分 1 急性毒性 (経皮) 区分 1 急性毒性 (吸入) 区分 1	H300 飲み込むと生命に危険 H310 皮膚に接触すると生命に危険 H330 吸入すると生命に危険
6.3B	皮膚腐食性/刺激性区分 3	H316 軽度の皮膚刺激
6.4A	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性区分 2	H319 強い眼刺激
6.5B	皮膚感作性区分 1	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
6.8B	生殖毒性区分 2	H361 生殖能または胎児への悪影響の疑い
6.9A (すべて、経口)	特定標的臓器有害性 (単回曝露) 区分 1	H370 臓器の障害
	特定標的臓器有害性 (反復曝露) 区分 1	H372 長期または反復曝露による臓器の障害
8.1A	金属腐食性物質区分 1	H290 金属腐食のおそれ
9.1A (すべて、甲殻類、魚類、藻類)	水生環境有害性、急性毒性区分 1	H400 / H410 水生生物に強い毒性
9.2A	なし	H421 土壤環境に強い毒性。
9.3A	なし	H431 陸生脊椎動物に強い毒性。
9.4A	なし	H441 陸生無脊椎動物に強い毒性。

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

3. 組成および成分情報

化学物質名	CAS 番号	重量パーセント	分類:
ヘモグロビン	該当なし	<50	危険性なし
シアン化カリウム	151-50-8	<0.05	危険性あり
希釈剤	該当なし	100% まで	危険性なし

4. 応急措置

眼:

直ちに眼を大量の水で洗い流し、上と下のまぶたを随時持ち上げる。コンタクトレンズを確認し、装着している場合は外す。症状がある場合は、医師による診察を受ける。

皮膚:

汚染された皮膚を大量の水で洗い流す。汚染された衣服や靴は脱ぐ。症状がある場合は、医師による診察を受ける

経口摂取:

水で口を洗い流す。曝露した人を新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい位置で休ませる。曝露した人に意識がある場合は、少量の水を飲ませる。医療担当者に指示されない限り、嘔吐を誘発しないこと。症状がある場合は、医師による診察を受ける。

吸入:

曝露した人を新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい位置で休ませる。症状がある場合は、医師による診察を受ける

応急措置の際の自衛策:

個人リスクがある、あるいは適切なトレーニングなく行動を取らないこと。
ニトリル手袋と保護眼鏡を着用する

毒物センターの連絡先番号: 0800 764 766

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

5. 火災時の措置

引火点:

特定されていない

可燃限界:

不明

HAZCHEM コード:

2Z

消火剤

火災時には、水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤を使用する

火災および爆発の危険性:

危険性のある熱分解生成物に関する特定のデータなし

消火を行う者の保護:

消火作業時は、適切な保護服およびフルフェイスの自給式呼吸装置を陽圧で着用する必要がある

6. 漏出時の措置

こぼれたり漏れたりした場合の措置方法

人体に対する注意事項、保護具、緊急時措置:

全身を覆う保護服、手袋、保護眼鏡を着用する

訓練を受けた要員のみが、流出した物質に近づいて浄化を行う。

環境に対する注意事項:

こぼれた物質や流出液の拡散、土壌、河川、排水路、上下水道への流出を避けること。本製品が環境汚染(上下水道、河川、土壌、大気)の原因となった場合には、関係当局、機関に通知すること。

封じ込めおよび浄化の方法、機材:

流出を防ぐための築堤、

不活性吸収剤で吸収し、収集して密閉可能な容器に入れ、地方自治体のガイドラインまたは規制に従って廃棄する。

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

7. 取り扱いおよび保管

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い:

適切な個人用保護具を着用する。本物質を取り扱い、保管、処理している場所での飲食および喫煙は禁じる。作業者は、飲食および喫煙の前に手と顔を洗うこと。食事場所に入る前に、汚染された衣服と保護具を脱ぐこと

保管 (混触危険物質を含む):

2°C ~ 8°C に管理された条件下で製品を保管すること

8. 曝露防止および個人保護措置

職業曝露限界値 (生物学的限界値を含む):

なし

工学的管理方法:

浮遊している汚染物質への作業者の曝露を管理するために、一般的に良好な換気が十分行われる必要がある。

個人用保護具:

衛生対策:

化学物質を扱った後、食事、喫煙を行う前、トイレの前、作業終了時には、手、前腕、顔をよく洗うこと。汚染されている可能性のある衣服を取り除くために、適切な措置が講じられる必要がある。汚染されている衣服は再び使用する前に洗うこと。作業場所から近い場所に、眼の洗浄場、安全シャワーが存在することが必要である



安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

皮膚および身体の保護具

危険性の評価によって必要性があると示される場合には、化学製品を取り扱う時に、規格認証のある耐薬品性で不浸透性の手袋を常に着用する必要がある。身体の保護具は、行っているタスクおよび関連するリスクに基づいて選択する必要がある。また、本製品取り扱い前に専門家によって承認を受ける必要がある。適切な保護具と追加の皮膚保護具は、行う作業および関連する危険性に基づいて選択する必要がある。また、本製品取り扱い前に専門家によって承認を受ける必要がある



眼の保護具

危険性の評価によって、液体の飛散、蒸気、気体、埃への曝露を避けるために認証された規格に準拠した安全眼鏡の着用が必要であると示された場合は、これを使用する必要がある。接触するおそれがある場合は、評価でより高度な保護が示されていない限り、次の保護具を着用する必要がある。サイドシールド付き安全眼鏡



環境の曝露防止:

換気あるいは作業処理装置からの放出は、環境保護規定の要件に準拠するように確認される必要がある。いくつかの事例では、放出を許容レベルまで低減するために処理装置へのヒュームスクラバー、フィルター、作業の変更が必要となる場合がある。

9. 物理的および化学的性質

性質	特徴
外観	凍結乾燥、チェリーレッド
臭い	かすかな血液の臭い
臭いの閾値	該当なし
pH	該当なし
融点/凝固点	該当なし
沸点、初留点および沸騰範囲	該当なし
引火点	該当なし
蒸発速度	該当なし
燃焼性 (固体、気体)	該当なし
燃焼または爆発範囲の上限/下限	該当なし
蒸気圧	該当なし
蒸気密度	該当なし
相対密度	該当なし
水への溶解度	該当なし
分配係数: n-オクタン/水	該当なし
自然発火温度	該当なし
分解温度	該当なし

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

粘度	該当なし
爆発性	該当なし
酸化特性	該当なし

10. 安定性および反応性

通常および予想される保管および取り扱い条件下での物質の化学反応性および化学的安定性

反応性:

具体的なデータなし

化学的安定性:

推奨される保管および使用条件において化学的に安定である

危険性有害反応可能性:

通常の条件下での保管および使用において、危険有害な反応は生じない

避けるべき条件:

具体的なデータなし

混合危険物質

具体的なデータなし

危険有害な分解生成物

通常の条件下での保管および使用において、製品の貯蔵寿命中に既知の危険有害な分解生成物は形成されない

11. 有害性情報:

有害性情報の対象:

急性毒性 (6.1A、6.1B、6.1C、6.1D)

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

化学成分	曝露限界 (8 時間) mg/m ³	LD50
ヘモグロビン	なし	なし
シアン化カリウム	5 (OSHA PEL)、0.9 (ECHA)	経口 7.49 mg/kg 体重 (ラット) (ECHA)

皮膚腐食性/刺激性 (6.3A)

化学成分	曝露限界 (8 時間) mg/m ³	
ヘモグロビン	なし	なし
シアン化カリウム	5 (OSHA PEL)、140 µg / kg / 日 (ECHA)	LD50 7.35 - 200 mg/kg 体重 (ウサギ) (ECHA)

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 (6.4A)

化学成分	曝露限界 (8 時間) mg/m ³	
ヘモグロビン	なし	なし
シアン化カリウム	5 (OSHA PEL)、閾値 (ECHA)	LC50 7.87 mg/kg 体重 (ウサギ)

呼吸器感作性または皮膚感作性 (6.5B)

化学成分	曝露限界 (8 時間) mg/m ³	
ヘモグロビン	なし	なし
シアン化カリウム	5 (OSHA PEL)、0.9 (ECHA)	LC50 (60 分) 63 ppm (ラット) (ECHA)

生殖毒性 (6.8A、6.8B、6.8C)

化学成分	曝露限界 (8 時間) mg/m ³	
ヘモグロビン	なし	なし
シアン化カリウム	5 (OSHA PEL)、0.9 (ECHA)	LC50 7.87 mg/kg 体重 (ウサギ)

特定標的臓器有害性 (単回および反復曝露) (6.9A、6.9B)

化学成分	曝露限界 (8 時間) mg/m ³	
ヘモグロビン	なし	なし
シアン化カリウム	5 (OSHA PEL)、0.9 (ECHA)	LC50 7.87 mg/kg 体重 (ウサギ)

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

麻酔作用 (6.9B)

なし

要約データ:

シアン化カリウムを除くすべての化学成分には危険性がないと見なされる。シアン化カリウムには希釈のカットオフレベルがないため、混合物に認められている危険性と曝露限界値がすべての濃度に適用される。

12. 環境影響情報:

基本性質のデータ要件:

KCN を除くすべての化学成分は危険性なしとして分類

シアン化カリウムの生態毒性 (水生および陸生)

水生種の生息地 (ECHA)	無影響濃度予測値
淡水	1 µg/L
断続的な放出 (淡水)	3.2 µg/L
海水	200 ng/L
断続的な放出 (海水)	なし
下水処理場 (STP)	50 µg/L
堆積物 (淡水)	4 µg/kg 堆積物乾燥重量
堆積物 (海水)	800 ng/kg 堆積物乾燥重量

その他の生態毒性

危険場所 (ECHA)	無影響濃度予測値
大気	危険性は特定されていない
土壌	7 µg/kg 土壌乾燥重量
捕食者の二次汚染	生物蓄積の可能性なし

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

13. 廃棄上の注意:

廃棄方法:

廃棄物の発生は避けるべきであり、可能な限り最小化する必要がある。

本製品、溶液、あらゆる副生成物の廃棄は、常に環境保護および廃棄物処理規制の要件、ならびにあらゆる地域の現地当局の要件に準拠する必要がある。管轄権を持つすべての当局の要件に完全に準拠していない限り、未実験の余剰分を下水道に廃棄してはならない。

廃棄物の包装はリサイクルする必要がある。

焼却または埋め立ては、リサイクルが不可能な場合にのみ検討する。本物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器あるいはライナーには、製品の残留物が残っている場合がある。

こぼれた物質や流出液の拡散、土壌、河川、排水路、上下水道への流出を避けること

14. 輸送上の注意:

輸送に関連する規制当局からの情報

危険物の分類:

説明	分類
国連番号	分類なし
国連正式品名	分類なし
国連危険物等級および副次危険性	分類なし
国連容器等級	分類なし
環境有害性 (例: 海洋汚染物質)	分類なし
輸送時の特別な注意事項	分類なし

15. 適用法令:

ニュージーランドおよび国際的な規制に関する情報が含まれる

HSNO 承認番号: 分類なし

本製品は、EU の法令で有害物に分類されていない

本製品は、米国の法令で有害物に分類されていない

本製品は、日本の法令で有害物に分類されていない

本製品は、カナダの法令で有害物に分類されていない

本製品は、中国の法令で有害物に分類されていない

安全性データシート

ヘモグロビン A1c 液体制御物質レベル 1 および 2

16. その他の情報:

用語集:

HSNO: 有害性物質および新生物法 (1996 年)

GHS 7: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム改訂 7 版

UN: 国連

ECHA: 欧州化学品庁

OSHA: 労働安全衛生局 (米国)

PEL: 許容曝露限界

KCN: シアン化カリウム

DG: 危険物

REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限

参考資料:

有害性物質および新生物法 (1996 年)

化学品の分類および表示に関する世界調和システム改訂 7 版

European Chemical Agency Guidance on the compilation of safety data sheets Version 3.1 November 2015
(欧州化学品庁による安全データシート作成ガイド、バージョン 3.1、2015 年 11 月)

欧州議会および理事会規則 (EC) No 1907/2006 (REACH)

Workplace Exposure Standards and Biological Indices 11th Edition November 2019、WorkSafe NZ (職場曝露基準と生物学的指標、11 版、2019 年 11 月、WorkSafe NZ)

読者への注意:

当社の知る限り、ここに掲載されている情報は正確である。ただし Canterbury Scientific Limited は、ここに掲げる情報の正確性あるいは完全性に関して、何であれ責任を負わない。あらゆる物質の適合性の最終決定は、ユーザーの単独責任である。あらゆる物質は、未知の危険性を示す可能性があり、慎重に使用する必要がある。特定の危険性はここに記載されているものの、これらのみが存在する危険性であることを保証することはできない。

この安全データシートの改訂版を受領した場合、古いものを破棄すること。